

「光る君へ」とその時代

大河ドラマと古典文学の間

歴史と創作の
融合が織りなす
魅力に迫ります

二〇二四年度のNHK大河ドラマ

「光る君へ」は、『紫式部日記』『栄

花物語』『大鏡』などの古典文学を

ベースにしつつも、時には歴史離れ

とさえ思われるような大胆な脚色を

加えて、独自の魅力的な世界を築き

上げています。

本講演では、「光る君へ」と古典

文学や歴史資料を比較し、時代背景

にも触れながら、「光る君へ」の世

界を読み解いてゆきます。

事前
申込制
(先着順)

参加費
無料

2024

11月13日 水 午前10時30分～12時

会場 千代田区立日比谷図書文化館
4階 スタジオプラス

開場 午前10時

定員 40名(事前申込制、先着順)

【お申し込み方法】

千代田区立図書館ホームページの「お申し込みフォーム」からお申し込みください(お申し込み期間:10月21日～11月12日)。お申し込みフォームの「その他・ご要望」欄に参加人数をご記入ください。代表者を含め、4名までお申し込みできます。定員に達し次第、受付を終了します。

※ お申し込みのタイミングによっては、定員に達している場合がございます。その際は、図書館よりご連絡差し上げますのでご了承ください。

お申し込みは
こちらから



「お申し込みフォーム」のボタンは
10月21日以降に表示されます

【お問い合わせ先】

千代田区立千代田図書館 ☎ 03-5211-4290 (平日のみ午前10時～午後6時)

【講師紹介】 さくら い ひろ のり 桜井 宏徳



1976年、東京生まれ。大妻女子大学文学部日本文学科教授。成蹊大学大学院博士後期課程修了。博士(文学)。専門は平安時代の仮名文学・歴史物語。著書に『物語文学としての大鏡』(新典社)、編著に『ひらかれる源氏物語』(勉誠出版)・『藤原彰子の文化圏と文学世界』(武蔵野書院)などがある。